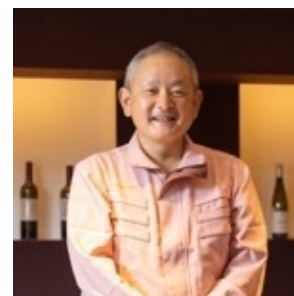




日本ワイナリーアワード® 2026 ご案内

一般社団法人 日本ワイナリーアワード協議会

日本ワイナリーアワード®は 優れた日本ワインを生み出す 醸造家・ワイナリーを顕彰しています



ごあいさつ

明治初期にスタートした日本におけるワイン造りは、21世紀になり新たなフェーズに入りました。個性豊かなワインの造り手が次々と登場し、今や全国で500社を超えるワイナリーが活動しています。日本ワインが世界的なコンクールでトップクラスの評価を得ることも珍しくなくなりました。まさに日本ワインは新時代に入りました。

日本ワイナリーアワードは数多くの日本ワインの中から、傑出した品質を誇るワイナリーを顕彰することを目的に設立しました。従来のコンクールのように個別の銘柄に対する評価ではなく、ワイナリーそのものを評価しています。ホテルの格付けを例にとれば、スイートルームはもちろん、スタンダードクラスの客室でも十分に満足できるような品質をイメージしていただけるでしょう。アワードで選出されたワイナリーが生み出すワインは、クオリティーが高く満足できるものばかりです。日本を代表する珠玉のワインをぜひお楽しみ下さい。このアワードが、ワインを愛する消費者の方々が日本ワインを選ぶときの一助になることを願ってやみません。

お気に入りのワインを見つけたら、ぜひそのワイナリーを訪問してみましょう。全国各地にあるワイナリーを訪れ、ブドウ畑に吹く風を感じ、ワインと同じ土から生まれた地元の食材による料理とのマリアージュを楽しみましょう。ワインとは、その産地の気候風土（テロワール）のすべてを楽しむものなのです。

日本ワイナリーアワード® が目指すもの

Our Mission —私たちの使命—

日本ワインの生産者が世界品質を生み出すための“道しるべ”になること

日本各地にワインの醸造家が増え、日々技術と品質の向上に励んでいます。

日本ワイナリーアワードは、日本ワインの醸造家の中でも傑出した品質のワインを産出するワイナリーを顕彰することで、多くの人たちに日本ワインの価値を啓発すると共に、醸造家が目指すべき品質の指標となり、日本ワイン全体のレベルが向上して、世界に認められるワインとなることに寄与します。

Our Vision —私たちのビジョン—

日本ワインが世界に認められる存在になること

日本ワインの醸造技術が向上し評価も上がる一方で、関税の撤廃で輸入ワインとの市場競争も厳しさを増しています。

私たちは、日本ワイナリーアワードの取り組みにより、日本ワインが世界から認められる存在となり、他国の多くのワインに埋もれることなく多くの人から選ばれる存在となることを目指します。

日本ワイナリーアワード® の仕組み

審査対象：

※2025年以降は、以下の条件を満たすワイナリーが対象となるが、2027年までは、経過措置あり。
果実酒製造免許を取得していること
免許取得から3年以上経過していること
国内に所在していること

審査員：

個別の銘柄の品質を試飲により評価するのではなく、ワイナリーとしての評価を求める。
そのため審査員は試飲能力に優れ、世界各地のワインに精通するのみならず、
原則として10年以上にわたり、下記の条件いずれかに該当する者とする。

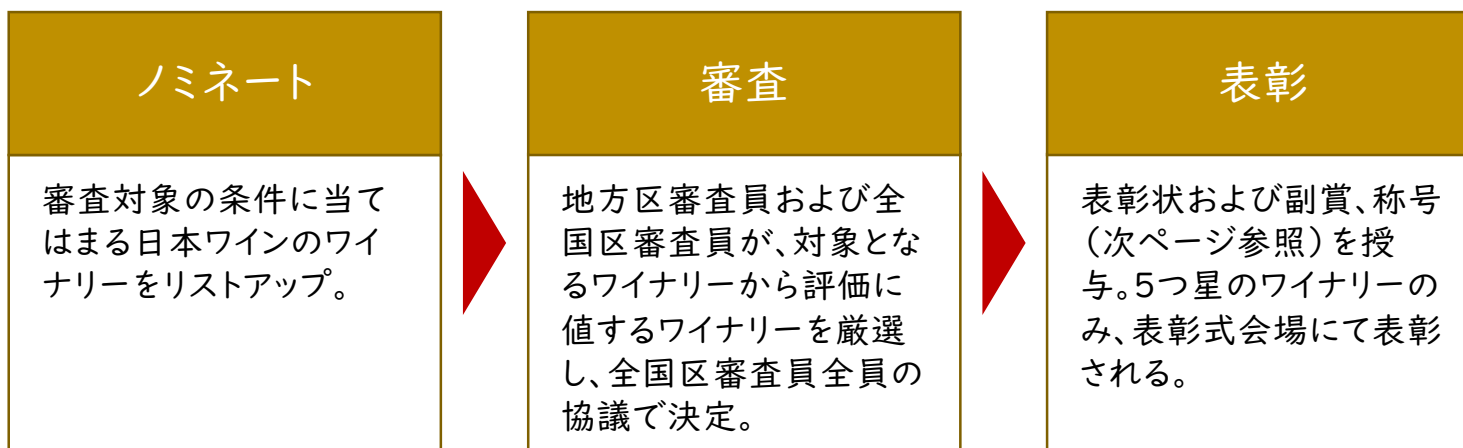
1. 日本ワインを広く取り扱う酒販店の代表者または仕入れ担当者
2. 日本ワインを広く取り扱う飲食店の代表者または仕入れ担当者
3. 日本ワインに関する著作・記事のある者

※消費者の目線に立った評価をするためにワイナリー関係者は含めない。

※審査員は2年ごとに見直す。

※各地区4名以上、主要地区は6名以上で審査。

審査方法：



日本ワイナリーアワード® の審査基準と称号

日本ワイナリーアワードはワイン単体ではなく、良いワインを生み出すテロワールとつくり手に与えられる賞です。消費者に一番近い立場にいるプロフェッショナルが、世界中のワインを知った上で「この日本ワインなら胸を張ってお客様にすすめてできる」と評価したワイナリーに贈られます。

Japan Winery Award



5つ星は最高評価のワイナリー。

多くの銘柄・ヴィンテージにおいて、傑出した品質のワインを生み出すワイナリーが受賞します。

Japan Winery Award



4つ星は非常に高い評価のワイナリー。

全体的に良質で安定感があり、銘柄やヴィンテージによっては傑出した品質のワインを生み出すワイナリーが受賞します。

Japan Winery Award



3つ星は高い評価のワイナリー。

安定感があり、ほとんどのワインが良質で安心して購入できるワインを生み出すワイナリーが受賞します。

Japan Winery Award

コニサーズワイナリー

コニサーとは、鑑定家や目利きの意味。評価に値する個性あるワインを生み出すワイナリーが受賞します。

日本ワイナリーアワード® 創設メンバーのご紹介

2018年3月からスタートした日本ワイナリーアワード 審議会は、2020年2月25日、一般社団法人 日本ワイナリーアワード 協議会として活動をリスタート。本年6月で、本アワードは9期目を迎えます。2025年6月から新体制とし、さらに生産者・生産地のお役に立てるよう動いて参ります。

■代表理事 審議委員長



遠藤利三郎 / *Risaburo Endo*

1962年東京生まれ。学習院大学経済学部卒。アカデミー・デュ・ヴァン講師、外務省在外公館赴任前研修日本ワイン講座担当、日本輸入ワイン協会会長、日本ワインコンクール審査員、塩尻市ワイン大学学長。ボルドー、ブルゴーニュ、シャンパーニュの3大ワイン騎士団を始め多くの騎士団から騎士の称号を受ける。著書に「ワイン事典(学研)」、共著に「日本ワイナリーガイド(新樹社)」など多数。ワインバー遠藤利三郎商店オーナー。

■代表理事 業務執行役員兼事務局長



山本光子 / *Teruko Yamamoto*

リクルート、西武百貨店、NTTドコモ北海道、電通北海道を経て、ぐるなび上席執行役員。観光・食領域を中心に官民連携プロジェクトの企画・統括に従事。洞爺湖サミット関連事業、日中韓観光大臣会合、ミシュランガイド北海道などを多数プロデュース。中央省庁・自治体・企業を横断し、構想から実行までを統括。現在は、日本ワインを含む「ガストロノミー」領域において、政策・産業・流通・教育を接続する取り組みを進めている。株式会社ユニヴァ・ペイキャスト CPRO (Chief Public Relations Officer)。一般社団法人北海道ガストロノミー協議会理事。立命館大学食マネジメント学部客員教授。ボルドー騎士団コマンドゥール。北海道大学法学部卒。東京を拠点に、札幌との二拠点活動12年目。

■理事



石井もと子 / *Motoko Ishii*

輸入ワインのマーケティングに関わり、各国のワイン生産者団体—NZ WINE Growers (ニュージーランドワイン栽培生産者協会)、WOSA (南アフリカワイン協会)、OWB (オレゴンワイン生産者協会)—の日本代表を務めた。傍らワインジャーナリストとして活躍。2006年よりガイドブック「日本のワイナリーに行こう」(監修・執筆)を発行、日本ワインの振興に努める。講談社「日本版ワインツーリズムのすすめ」など著作、寄稿多数。前日本ワイナリー協会顧問。

日本ワイナリーアワード® 新体制のご紹介



顧問/本保芳明

コマンドリー・ド・ボルドー東京名誉会長



顧問/村田吉弘

株式会社菊の井代表取締役



アドバイザー/西経子

農林水産省大臣官房審議官



アドバイザー/後藤奈美

公益財団法人日本醸造協会常務理事



理事/廣瀬俊朗

株式会社HiRAKU代表取締役



理事/平形雄策

元農林水産省農産局長
株式会社極洋顧問

写真出典：農林水産省「入省案内」より
/CC BY 4.0
© Ministry of Agriculture, Forestry
and Fisheries, Japan

本年6月に9期目を迎えます。また、昨年度よりJWAとしてさらにワイナリーの皆様のお役に立てるよう、新体制を組成しました。

日本ワイナリーアワード® 事務局のご紹介

JWAは2017年秋から活動をスタートし、2018年3月に第1回日本ワイナリーアワードを開催。2020年に一社化し、活動を加速して参りました。

事務局長 山本光子 2017年10月から 業務執行全般統括 本業複数 ※創設メンバーのシートご参照

事務次長 伊東寛雄 2017年10月から 制作担当 本業は教育領域の新規事業プロデューサー

事務次長 ローソン宏美 2023年7月から 広報担当 本業は投資の支援コンサル

事務局 市川早代子 2018年3月から ワイナリー連絡担当

事務局 市川幸介 2025年6月から イベント運営担当 本業はテレビマン

事務局 清水真理子 2025年6月から WEB担当、伊東次長補佐 本業はデータアナリスト



山本光子



伊東寛雄



ローソン宏美



市川早代子



市川幸介



清水真理子

第8回 日本ワイナリーアワード® 2025 開催概要

昨年度開催

会 名 称 : 第8回 日本ワイナリーアワード® 2025
開 催 日 : 2025年6月9日 (月)
【第1部】授賞式・発表会 17:00-17:45
【第2部】記念パーティ 18:15-20:00

※第2部は有料・立食形式
※第1部展覧希望多く、一般20名が参加 (有料)

会 場 : 東京會館 7F ロイヤル
(東京都千代田区丸の内3-2-1)
主 催 : (一社) 日本ワイナリーアワード協議会

参 加 者 : 関係者 (メディア、関係省庁、ワイナリー関係者など) : 80名
一般 (有料) : 100名

審 査 員 : 計22名 (審議委員長、全国区審査員6名、地方区審査員15名)

特別審査員 : 高嶋政宏氏 (俳優)

ゲスト : 外務省、山梨県知事、塩尻市長

後 援 : 農林水産省、観光庁、JF00D0

協 賛 : リーデル・ジャパン、株式会社グローバル

協 力 : 日本航空、DMO東京丸の内

内 容 : 【第1部】来賓等挨拶、5つ星・特別審査員賞・JAL賞の授賞、新任役員登壇
【第2部】5つ星ワイナリー代表ワインの有料試飲会 (醸造家との交流会)



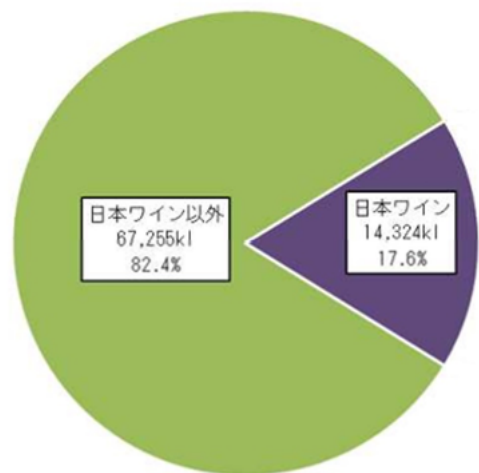
日本ワインについて

国内のワイナリーの数は年々着実に増加。
また海外での日本ワインの評価も向上しています。

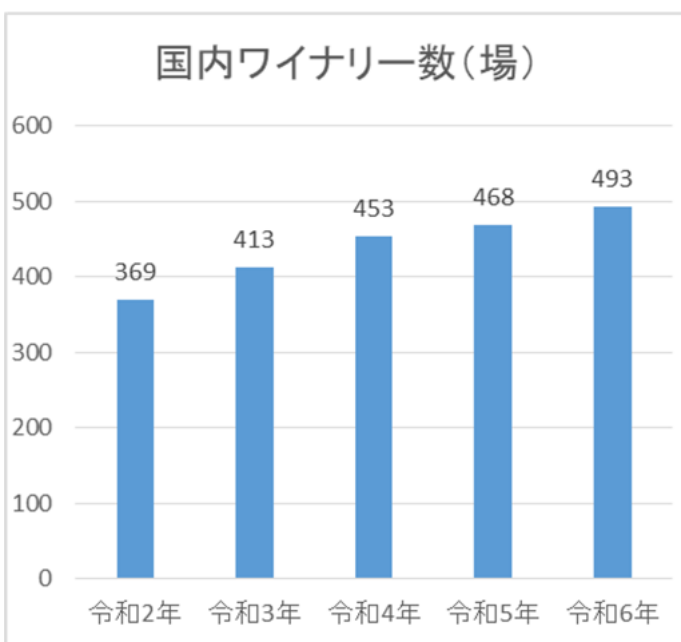
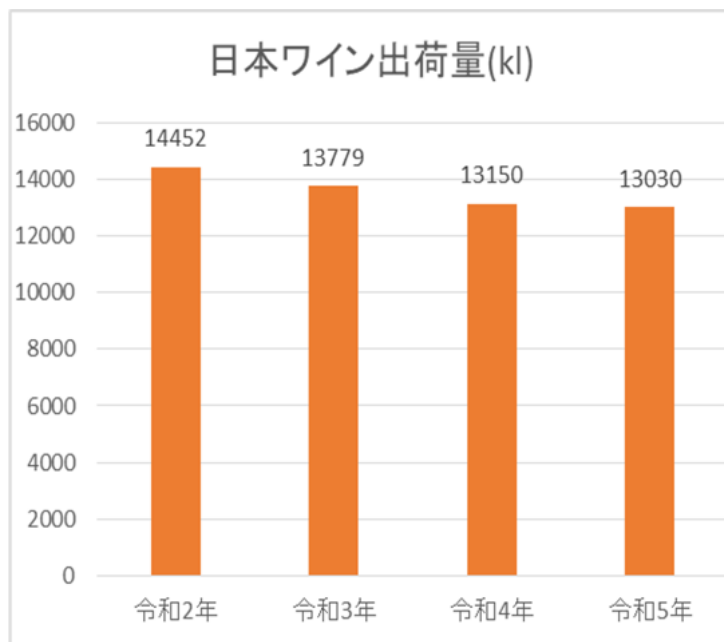
●日本ワインとは

日本国内で栽培されたブドウを100%使用して日本国内で醸造されたワインのこと。
背景として、国内における酒類消費が横ばいの中、ワインは近年消費が拡大している成長産業であること、特に国産ぶどう100%を原料とする「日本ワイン」の中には海外で高い評価を受ける高品質なものが出てきていることから、日本ワインとその他のワインを明確に区別し、日本ワインには産地・品種・年号等の表示ができるよう、国税庁が2018年10月30日に制定。

国内製造ワインの製成数量構成比



出所： 国税庁「酒類製造業及び酒類卸売業の概況（令和6年調査分）」



都道府県別

ワイナリー数	令和6年	令和5年
1 山梨	89	92
2 長野	75	72
3 北海道	64	55
4 山形	22	20
5 岩手	17	15
6 茨城	13	12
7 新潟	12	10
8 その他	201	192
合計	493	468

上記は、アンケートベースの数字であるため、
実際のワイナリー数とは、必ずしも一致しません。

出所： 国税庁「酒類製造業及び酒類卸売業の概況（平成27年～令和6年調査分）」

※果実酒製造業者実態調査によるものであり、必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する

日本ワイナリーアワード® のあゆみ

▼第1回 日本ワイナリーアワード®



▼第2回 日本ワイナリーアワード®



▼第3回 日本ワイナリーアワード®



▼第4回 日本ワイナリーアワード®



▼第5回 日本ワイナリーアワード®



▼第7回 日本ワイナリーアワード®



▼第6回 日本ワイナリーアワード®



▼第8回 日本ワイナリーアワード®



第8回 日本ワイナリーアワード® 2025受賞ワイナリー

2025年6月9日、2025年度の受賞ワイナリーを発表しました。

★★★★★
[5つ星]

17 場

★★★★★
[4つ星]

71 場

★★★
[3つ星]

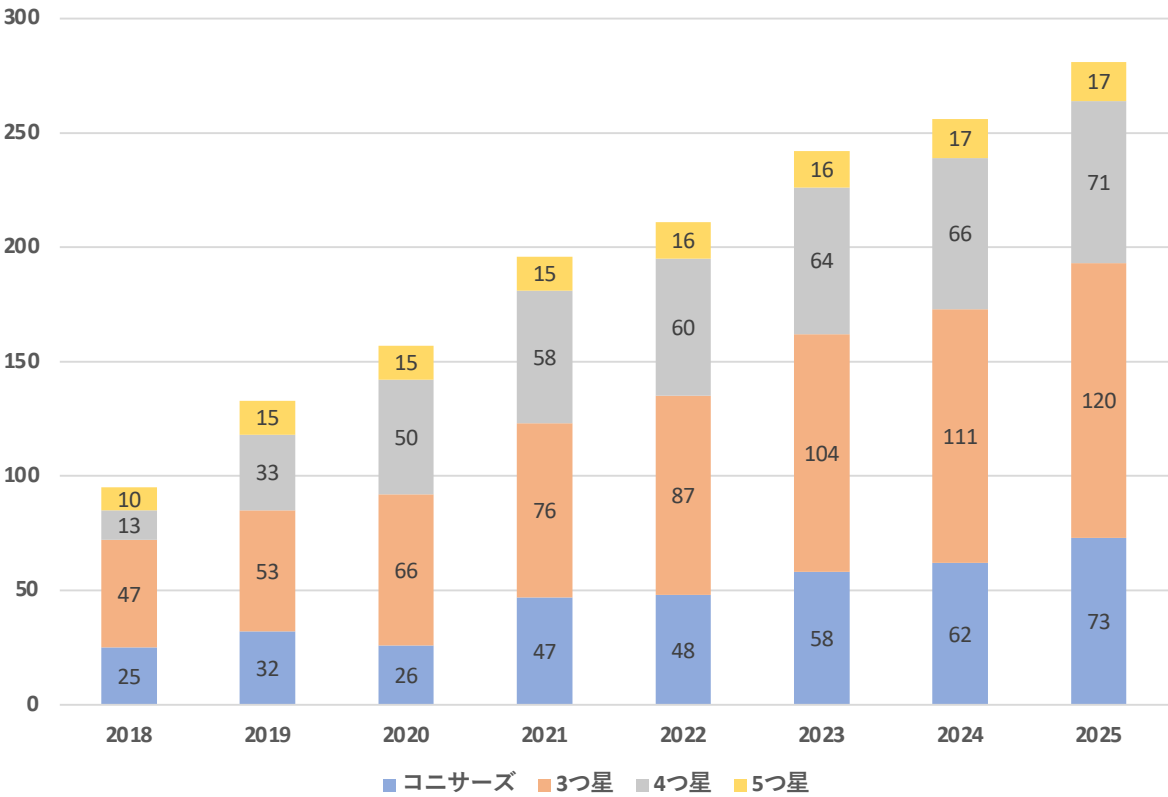
120 場

コニサース

73 場

★★★★★ [5つ星] ワイナリー

- | | |
|-----|----------------|
| 北海道 | ドメーヌ・タカヒコ |
| 北海道 | 山崎ワイナリー |
| 山形県 | 酒井ワイナリー |
| 山形県 | 高畠ワイナリー |
| 山形県 | タケダワイナリー |
| 山梨県 | 勝沼醸造 |
| 山梨県 | 機山洋酒工業 |
| 山梨県 | Kisvinワイナリー |
| 山梨県 | サントリー登美の丘ワイナリー |
| 山梨県 | シャトー・メルシャン |
| 山梨県 | ダイヤモンド酒造 |
| 山梨県 | 中央葡萄酒 |
| 山梨県 | 丸藤葡萄酒工業 |
| 山梨県 | マンズワイン |
| 長野県 | 小布施ワイナリー |
| 長野県 | Kidoワイナリー |
| 大分県 | 安心院葡萄酒工房 |



第8回 日本ワイナリーアワード® 2025 開催レポート【第一部】

本年5つ星受賞17ワイナリーのうち14社に参加いただき、盛大に発表会を開催。協賛・協力企業、審査員など関係の皆様が例年にも増してご参集くださいました。日本ワインの勢いを感じる8期目になりました。



農林水産省
松尾浩則 農産局長

国土交通省 観光庁
平嶋隆司 次長

JFOODO
北川浩伸 執行役

<来賓挨拶> ご後援の皆様より、ワイナリーへのエールのお言葉をいただきました。



<特別審査員賞発表>

俳優・高嶋政宏様より特別審査員賞発表
受賞は安心院葡萄酒工房 執行役員 工房長
古屋浩二さん



<JAL賞発表>

北海道・めむろワイナリー、石川県・ハイディワイナリー、奈良県・木谷ワインの3社が選出。



初年度から協賛いただいているリーデル社アンギアル社長（左）
グローバルマーケティング本部 東京支店 佐藤俊哉様（右）



協議会は発足から8年を経て、今年新たな体制を構築。新任理事、顧問、アドバイザーが紹介され、遠藤代表理事に加え共同代表理事として山本光子が就任。顧問には初代観光庁長官・本保芳明氏と、「菊乃井」代表・村田吉弘氏が加わり、理事には農林水産省関係者も参画する多彩な顔ぶれが揃う。

※写真左から、顧問に、コマンドリー・ド・ボルドー日本メートル、コマンドリー・ド・ボルドー東京名誉会長 本保芳明氏
理事に、前農林水産省農産局長、(株)極洋顧問 平形雄策氏、(株)HIRAKU代表取締役 廣瀬俊朗氏
アドバイザーに、公益財団法人日本醸造協会常務理事 後藤奈美氏

第8回 日本ワイナリーアワード® 2025 開催レポート【第二部】

8期目を迎えた本年は、授賞式と記念パーティーを同じ広い会場で行い、限定数ながら希望の多かった一般の方の授賞式参加も可能としました。日本最高峰のワイナリーの代表ワイン17種類がすべて試飲でき、かつ醸造家とコミュニケーションができる唯一の会であり、東京會館の料理と共に好評をいただきました。



乾杯のご発声は、特別審査員の高嶋政宏様



ご来賓挨拶 長崎山梨県知事



ご来賓挨拶 百瀬塩尻市長



日本ワイナリーアワード® これまでの特別審査員賞

第3回 日本ワイナリーアワード® (2020年) に新設

▼第3回 (2020年)



岡 昌治 氏

一般社団法人日本ソムリエ協会
名誉会長

北海道

Niki Hills ワイナリー



脇屋 友詞 氏

Wakiya 一笑美茶楼 オーナーシェフ

北海道

千歳ワイナリー

▼第4回 (2021年)



村田 吉弘 氏

株式会社 菊の井 代表取締役

山梨県

中央葡萄酒

▼第5回 (2022年)



寶井 英晴 氏

株式会社 蛇の市本店 5代目

北海道

10Rワイナリー



磯橋 輝彦 氏

株式会社 嵐山辨慶 代表取締役

長野県

井筒ワイン

▼第6回 (2023年)

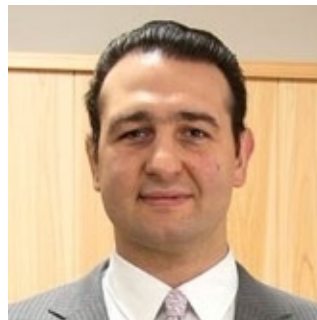


廣瀬 俊朗 氏

北海道

モンガク谷ワイナリー

▼第7回 (2024年)



鳴戸部屋 親方

(元 琴欧洲関)

北海道

Niki Hills ワイナリー

▼第8回 (2025年)



高嶋 政宏 氏

大分県

安心院葡萄酒工房



日本ワインで
乾杯の日®



日本ワインで乾杯の日®は、日本ワインのつくり手とワインを育む自然に感謝と敬意を表し、みんなでグラスを掲げる日本ワインプロモーションです。

気候変動や世界レベルの災害など環境変化が大きい中で、日本各地のワイナリーがさらに豊かな実りでありますように、ご一緒に応援していただけますと幸いです。



第1回・第2回 日本ワインで乾杯の日® 開催レポート

国道の起点であり江戸時代から日本各地のモノ・コト・ヒトで賑わう日本橋を舞台に、受賞ワイナリーのユーザー向けプロモーションとしてスタート。テストプロモーションだった2022年から、2023年は自走化に向けて日本橋界限のお店（日本橋 三四四会店舗）とタッグを組み開催しました。

名 称： 日本ワインで乾杯の日®

第1回 2022年10月28日（金）

第1部：オープニングセレモニー@日本橋福徳の森広場

第2部：モデルプロモーション@日本橋蛇の市本店江戸前鮨×5つ星ワイナリー各社コラボ

※以下動画ご参照

<https://www.facebook.com/JAPAN.WINERY.AWARD/videos/2468872209935428>

<https://www.facebook.com/JAPAN.WINERY.AWARD/videos/600007272129025>

第2回 2023年10月27日（金）

第1部：オープニングセレモニーと一般参加試飲会@VINOSITY maxime 日本橋（コレド室町2・1F）

第2部：日本橋老舗各店と5つ星ワイナリーのコラボプロモーション

蛇の市本店×ドメーヌタカヒコ&シャトーメルシャン、繁乃鮨×勝沼醸造、

いづもや×安心院葡萄酒工房、てん茂×高畠ワイナリー、肉鮮問屋佐々木×タケダワイナリー

三冨魯久汁ハ×サントリー登美の丘ワイナリー

主 催： 日本橋三四四会、一般社団法人日本ワイナリーアワード協議会

協 賛： 三井不動産株式会社

協 力： 日本航空株式会社

運 営： 合同会社Food and Value Entertainment

後 援： 農林水産省、JFOODO日本食品海外プロモーションセンター

第3回 日本ワインで乾杯の日® 開催レポート

第3回を迎えた本会は、「第7回日本ワイナリーアワード®表彰式・記念パーティー」にご協力いただいたDMO東京丸の内※に加えて三菱地所にも入っていただき、実行委員会形式で開催しました。過去2回は単独イベントでしたが、本年は、「丸の内日本ワインWeeks2024」のオープニングセレモニーとして華やかに実施できました。

※今年度のアワード翌日である2024年6月11日（火）には、DMO東京丸の内において、JWAが全面的に企画協力した「最高の日本ワインを楽しむ会～日本ワイナリーアワード®5つ星受賞ワイナリーを招いて」を、80名規模で開催しています。

名 称： **丸の内日本ワインWeeks 2024**

<https://www.marunouchi.com/lp/japanwineweeks2024/>

会 場： ▼オープニング企画「第3回日本ワインで乾杯の日®」セレモニー
10/24(木) 18:00-20:00 @丸ビル1F

▼日本ワインウィーク 10/24（木）～11/10（日）

@丸ビル7F丸の内ハウス12店舗、and more restaurant、東京會館、パレスホテル、帝国ホテル、ペニンシュラ、東京ステーションホテル、丸の内ホテル、シャングリラ、THE UPPER

▼丸の内ワーカー向け日本ワイン勉強会 10/30（水）18:30～20:30
@DMO東京丸の内イベントスペース（二重橋ビル6F）

来賓/ゲスト： 渡邊農水事務次官、松尾農水省農産局長、西農水省大臣官房審議官、平嶋観光庁次長
豊田外務省在外公館課長、廣瀬俊朗元ラグビー日本代表キャプテン

5つ星ワイナリー:タケダ、高畠、勝沼醸造、サントリー、メルシャン、機山、丸藤葡萄酒工業、安心院葡萄酒工房

主 催：丸の内日本ワインWeeks2024実行委員会
（三菱地所、DMO東京丸の内、一社日本ワイナリーアワード協議会）

第4回 日本ワインで乾杯の日® 開催レポート

第4回を迎えた本会は、三菱地所とともに主催し、日本航空（JAL）のご協力のもと開催しました。昨年から引き続き、「丸の内日本ワインWeeks2025」のオープニングセレモニーとして華やかに実施できました。

名 称： 丸の内日本ワインWeeks 2025 https://www.marunouchi.com/lp/japanwineweek2025_autumn/

会 場： ▼オープニング企画「第4回日本ワインで乾杯の日®」セレモニー
10/27(月) 18:30-20:30 @丸ビル1F

▼日本ワイン特別販売会 10/31（金）16:00～21:00
@丸ビルB1F マルチカ特設会場（販売：IMADEYA）

▼日本ワインを学び、楽しむ3つのサロン
10/28（火）18:30～20:30、10/29（水）18:30～20:00、10/31（金）18:30～20:00
@DMO東京丸の内イベントスペース（二重橋ビル6F）

来賓/ゲスト： 山口農水省農産局長、木村観光庁次長、佐野山形県上山市副主幹

5つ星ワイナリー:タケダ、高畠、勝沼醸造、機山、サントリー、メルシャン、ダイヤモンド酒造、中央葡萄酒工業、マンズワイン、安心院葡萄酒工房 の栽培家・醸造家などの皆様

JAL賞ワイナリー:めむろ、ハイディ、木谷 のオーナーなどの皆様

主 催：一般社団法人日本ワイナリーアワード協議会、三菱地所株式会社

協 力：日本航空株式会社

乾杯セレモニー

- 開催日時： 2025年10月27日（月）18:30～20:30
- 会場： 丸ビル IF THE FRONT ROOM
- 参加者：
 - ・一般来場者 限定100名（Peatix）
 - ・ワイナリー、ご来賓ゲスト、メディア等 関係者含め70名

■来賓：

農林水産省 農産局長 山口靖様
国土交通省 観光庁 次長 木村典央様

■ゲスト：

山形県上山市 農林夢づくり課 佐野千鈴様

■トークセッション：

めむろワイナリー株式会社 尾藤光一様
ハイディワイナリー 山下恵理 様
木谷ワイン 木谷一登 様
日本航空株式会社 遠藤朋美様



農林水産省 農産局長
山口靖様



国土交通省 観光庁 次長
木村典央様



トークセッション



乾杯フォトセッション（ワイナリー、ゲストの皆様）



第9回 日本ワイナリーアワード® 授賞式・記念パーティー 開催絶賛準備中！！

日時・会場

2026/6/8（月）17:00～（予定）
@東京會舘7階宴会場